

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成23年2月9日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	久多地区 急傾斜地崩壊対策事業		地区名	京都市左京区久多下の町	
概算事業費	2.1億円		事業期間	5ヶ年	
事業概要	擁壁工				
目指すべき環境像	久多地区は、京都市左京区の最北端の山間部に位置する過疎化、高齢化が進んだ集落である。当該箇所は土砂災害警戒区域に該当し、急傾斜地と河川に挟まれた地形に避難所、生活道路（府道）及び診療所等が存在する。このため、森林や河川などの自然環境の保全に配慮しつつ人命、財産を守る対策を行う必要がある。				
関連する公共事業	なし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	<p>斜面には杉の人工林や竹林などが植生しているが、斜面中には転石の存在が確認され、一部の転石は施設裏に落下しており危険な状況である。</p> <p>このため既存植生を活かしつつ斜面崩壊や転石の落下に対する施設計画を行う必要がある。</p>	<p>土砂災害を防止する目的や構造上の基準に従い極力大きな法面や地形の変更を行わないよう待ち受け構造の擁壁や落石防護柵などの施設計画を検討する。</p>		
	地形・地質			○	3
	物質循環(土砂移動)			○	4
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系			○	3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	<p>急傾斜地崩壊防止施設と保全人家が近接していることから、施工時における騒音、振動に留意する必要がある。特に土砂掘削時には、粉じんの処置に留意する必要がある。</p>	<p>工事施工中は、低騒音、低振動、低排出ガス型の機械を使用することを原則とする。粉塵対策として、土砂掘削時に散水する、防じんシートを配置するなど、生活環境に支障を来さないよう配慮する。</p>		
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動			○	3
	廃棄物・リサイクル				
	化学物質・粉じん等			○	3
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	<p>当該箇所は、山地や河川に接しており、豊かな自然景観に恵まれることから、植生などの景観の改変を最小にとどめる必要がある。</p> <p>また、避難所、憩いの場や診療所など、地域の施設も保全する事業であることから住民との協働が不可欠である。</p>	<p>掘削に伴い法面工が必要となれば、周辺の自然環境に調和した在来種の植生を検討する。</p> <p>地域住民との協働では、急傾斜地崩壊防止施設の維持管理のあり方について住民意見を反映しつつ施設計画を進め、施工時も住民との調整を行う。地域住民には土砂災害に対する危機意識を高めていただけるような説明会を実施する。</p>	3	
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働			○	4
その他					
外部評価					